

高島町特定居住促進計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果

高島町では、「高島町特定居住促進計画」の策定にあたり、町民の皆様から広くご意見を募集するため、パブリックコメントを実施しました。その結果、1名の方から6件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見の概要と、それに対する町の考え方は次のとおりです。貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

■募集期間 令和8年2月17日（火）～令和8年3月3日（火）

■提出者数 1名

■意見数 6件

No	意見の概要	町の考え方
1	高島町で生活するには自動車が必要となるため、糠野目地区（JR高島駅周辺）などでカーシェアリングの整備や情報提供を行うことで、二地域居住を検討する方の負担軽減につながるのではないかと。	ご意見ありがとうございます。二地域居住を進めるうえで移動手段の確保は重要な視点であると認識しています。令和7年度末までに策定予定の「高島町地域公共交通計画」においても、町内で自由に移動できる交通の確保を課題として設定し、解決に向け検討を進めていくこととしています。本計画においても、今後の受入環境整備を進める中で、関係機関や民間事業者との連携も含め検討してまいります。
2	糠野目地区は新幹線駅があり首都圏からのアクセスが良いが、駅徒歩圏内に食料品を購入できるスーパーマーケットがないため、二拠点生活を検討するうえで生活環境の整備が必要ではないかと。	ご意見ありがとうございます。糠野目地区はJR高島駅を有する本町の玄関口として交流人口・関係人口の受入拠点となる地域です。日常生活の利便性向上については、地域の実情や民間事業者の動向も踏まえながら今後の地域づくりの参考とさせていただきます。
3	コワーキングスペースについて、リモート会議に対応できる個室ブースやデュアルディスプレイなどの設備、利用時間の拡充など、首都圏の働き方に対応できる環境整備が必要ではないかと。	ご意見ありがとうございます。テレワーク環境の整備は二地域居住を促進するうえで重要な要素であると認識しています。コワーキングスペースの設備や利用環境については、利用者ニーズも踏まえながら今後の施設運営や環境整備の参考とさせていただきます。
4	JR駅から徒歩圏で通学できる高島高校は利便性が高く、県外からの受入れなどの面でも活用できるのではないかと。	ご意見ありがとうございます。本町では高島高校の魅力を高め、生徒数を確保する事業に取り組んでおり、県外入学性の受入れについても取り組みを進めております。今後県外生の入学が増えていくよう、事業に取り組んでまいります。
5	二地域居住を検討するうえで、空き家や滞在施設におけるWi-Fiなど通信環境の整備が重要ではないかと。	ご意見ありがとうございます。通信環境の整備は二地域居住を進めるうえで重要な視点であると認識しております。本町有している、「ゆうきの里さんさん」は、Wi-Fi環境を整備しており、既存施設を活用しながら受入れを進めていくこととしております。本計画においては、既存施設等を活用しながら受入環境の充実を図ることとしており、通信環境の確保についても、まずは、既存施設の活用を基本として対応してまいります。
6	地域企業との協働・副業等の関係人口創出についてKPIが設定されているが、具体的な計画があるのか。	ご意見ありがとうございます。本計画では教育・地域活動・企業連携を通じて関係人口の創出を図り、地域企業との協働や副業等の関わりの拡大を目指します。具体的な取組については既存事業や企業連携を踏まえ段階的に展開していく予定です。

